



本学の地域貢献

学長 井伊久美子

今、保健医療専門職には、様々な場での活躍が期待されています。

少子高齢多死社会を迎え、人々の医療や介護のニーズは増大し、かつ複雑化しています。こうしたニーズに応え、医療の提供体制も大きく転換が図られ、育児支援、障がい者の生活支援など幅広い保健医療福祉の提供を目指し、様々な取り組みが行われています。また、人生100年時代と言われる今日、疾病予防、健康づくりがますます重要になっています。そして、新型コロナウイルスのような未知の感染症や大規模災害などの健康危機においても対応が求められています。本学は、このような時代の要請に応え、保健師・助産師・看護師・臨床検査技師の保健医療専門職を育成してきました。

同時に、県立大学である本学は、地域に根差し、開かれた大学として、教員と学生が様々な地域活動を展開しております。

平成23年に「地域連携推進センター」を設置し、健康サポーター養成講座やライフサイエンス教室などの地域活動を行ってきました。また、専門職向けに

は、かがわメンタルヘルス研究会やかがわ訪問看護学びあい塾なども実施しております。また、このたびの新型コロナウイルス対策として、相談センターの電話対応など、本学の教員の専門性を生かした協力も行いました。

県立大学として、地域貢献は使命の一つです。これからも地域とともにある大学として取り組みを重ねたいと思います。

HANDsご愛読の皆様には、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の健康サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染防止対策のもと、実施しました。



国家試験合格状況・進路状況

令和元年度の国家試験は、看護師100%、保健師100%、助産師100%、臨床検査技師95%の合格状況でした。卒業生・修了生は、一人ひとりが自分の適性に合った進路を選択し、専門職として次のステップへと踏み出しました。

《国家試験合格状況(令和元年度実施)》

	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
受験者数(人)	64	18	9	20
合格者数(人)	64	18	9	19
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	95.0
新卒者の全国平均(%)	94.7	96.3	99.5	83.1

国家試験合格、就職・進学おめでとう!!

《進路状況(令和2年3月卒業生・修了生)》

学 科	看護学科			臨床検査学科	助産学専攻科	
	看護師	保健師	その他	臨床検査技師	助産師	
就職者数(人)	県内	25	4	0	9	7
	県外	23	3	0	6	2
進学者数(人)		9		4	0	
その他(人)		0		1	0	
合 計(人)		64		20	9	



新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス

本学では、新型コロナウイルス感染防止の影響による緊急事態宣言解除後の6月1日から、3密を避けるなどの感染防止対策を実施した上で、対面授業を再開しました。

ここでは、今年度前期の本学の授業や学生の様子を紹介します。

看護学科

看護学科 1年 沖元 未来

看護技術論Ⅱの授業は、70名を2つに分ける等、コロナ感染症対策で進められています。授業では、先生が演習中の学生(ベッド1台を学生2名が使用)からの質問に対応し、学生の責任感と学びの質がより高まる方法がとられています。



看護学科 1年 田中 爽子

大学生活は高校の時とは違い、自由なことが多く、授業も生活もとても充実しています。そのぶん、何事にも責任を持った行動をしていかなければなりません。新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、様々なことに挑戦していきたいと思います。

看護学科 1年生担当教員 松村 千鶴

6月1日からの対面授業で、看護学科1年生の日常生活援助技術の授業は70名を35名ずつ2回に分けて行われました。そして学生は感染予防として、マスクをつけ他者との距離を保ちながら授業に意欲的に取り組みました。



(訪問看護師経験をもつ実習指導者と教員によるオンライン講義)

看護学科 4年 富家 加菜

徹底した感染予防対策のもと、対象者を想像し、支援方法をグループで共有することで、自分にはない視点に気づきました。臨地実習に行けなかったのが残念でしたが、アセスメントやケアを振り返ることで学びを深めました。

看護学科 4年生担当教員 岡田 麻里

公衆衛生看護学・在宅看護学・精神看護学実習が行われました。学内ロールプレイ、動画や実践家の助言を活用したオンライン学修による対象の理解を深めました。さらに、就職活動、卒業研究、国家試験勉強にも取り組んでいます。



(公衆衛生看護学実習:学内演習室での家庭訪問技術演習)



(ソーシャルディスタンス確保のため、体育館を対面授業に活用しました。)



感染防止対策実施中

臨床検査学科

臨床検査学科 2年 有田 小夏

4、5月は2年生になって専門科目も増える中で、新しい内容を課題やオンライン授業で習うという状況に不安や戸惑いがありました。しかし、6月に入り、先生方のサポートも受けながら友達と共に大学生活を送ることができて、とても充実しています。



臨床検査学科 2年生担当教員 山口 航

血液検査学実習では遠隔授業に合わせて、検査手技の実演と臨床的意義を説明した動画を撮影し、配信しました。対面授業が始まり、血液細胞のスケッチでは、学生がお互いに向き合わないように顕微鏡を配置して実施しました。



臨床検査学科 3年 吉田 清香

臨床検査の3年生は将来に向けた実習が主なので、自粛が明け学内実習が始まることにとても安心しました。しかし、後期に病院実習を控えている今、病院実習が無事に行われるのか不安に感じています。

臨床検査学科 3年生担当教員 小河 佳織

臨床検査学科3年生の履修する生体機能検査学実習Ⅱでは、①マスク、手袋、フェイスシールドの着用②操作部位のラップによる被覆③消毒の徹底④待機場所を別室にして密の回避 などをを行い感染防止に努めています。

Webオープンキャンパス2020

令和2年8月1日(土)

2020年度オープンキャンパスについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Webオープンキャンパスとして8月1日に開催しました。登録制で145名にご参加いただきました。学長挨拶、両学科及び入試の説明をライブ配信で行い、チャットによる質問にも応じました。学生によるキャンパスツアー動画が好評でした。



新任紹介



岡田 麻里
看護学科准教授
専門分野
在宅看護学

頸髄損傷者の会や地域のがんサロン、高齢者サロンなどの地域活動支援を通して、障がいや病をかかえていても自分らしく地域で暮らしてつづけることを支えるケアについて研究しています。ここ香川では、地域の方とのつながりを築きながら、新たに地域看取りケアについて取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。



池亀 彰茂
臨床検査学科准教授
専門分野
形態検査学

本年4月から血液検査学および一般検査学の教員として着任しました。病院検査室や検査センターにおける経験を活かして、臨床実習や就職に対する学生の相談に応えられるようにしたいと思います。また、研究面では臨床に近いテーマを題材とし、学生と共に取り組みたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



(自著表紙)

南 貴子
教養部教授
専門分野
応用社会科学、英語

本年4月から英語担当教員として着任しました。海外の事例をもとに、生殖補助医療を巡る法制度の問題、安楽死・幫助自死など生命倫理における諸問題について研究しています。医療技術が進歩する中で、学生が、海外の先行事例から積極的に学び、広い視野・洞察力を身につけるための基礎となる英語力を培うよう尽力致します。

お知らせ

◆公開講座

令和2年11月9日(月)
会場:保健医療大学

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、中止する場合があります。

入学試験

◆大学院入試(看護学専攻・臨床検査学専攻)

令和2年10月31日(土)

◆専攻科入試(助産学専攻科)

令和2年11月28日(土)

◆推薦入試(看護学科・臨床検査学科)

令和2年12月12日(土)

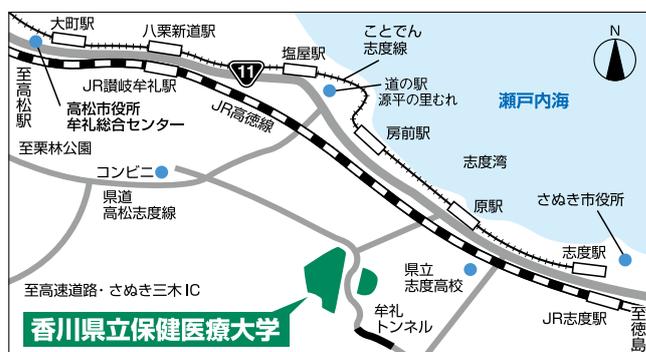
タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。



香川県立保健医療大学

KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp
<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>



◆学校への経路

- 【西方面から】高松から車で30分
ことடன்志度線・原駅下車徒歩10分
高松東ICより車で10分
- 【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分
志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分